

別紙

福山熱煉工業株式会社 福山テクノ工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
福山熱煉工業株式会社 福山テクノ工場
- (2) 事業所の所在地
福山市箕島町6280-1
- (3) 業種
金属熱処理業

2 計画の期間

平成23年4月～平成28年3月

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：温室効果ガス総排出量 (t-CO₂) / 加工賃 (百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂	8.48	8.00 5.6	7.79 8.1	7.66 9.7	9.17 -8.1	8.73 -2.9	8.84 -4.2
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	12,439	13,200	18,098	16,171	17,841	17,442	17,234
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	3.229		2.784	2.984	3.233	3.167	3.254
実績に対する 自己評価	ここ2～3年の取引先の海外生産移管の影響で、少量多品種化の流れから効率低下が続く。H26年度はエネルギー効率を上げる取り組みで一定の効果が出たが、H27年度はさらに少量多品種化が進み、改善できなかった。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組みの実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量を5%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える ● 1ロットの装入量上げる等、できるだけ効率のよい生産を実施する ● エアコンの温度設定/不要な照明を消す等の普段の省エネの推進
2	ブタンの使用量の削減	ブタン使用量を3%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える ● 連続炉装入量上げる等できるだけ効率のよい生産を実施する
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃油の削減	原単位での削減率 年3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃油の油水分離を進め、油分の再利用を図る

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。